

# 日本の学校給食のあゆみ



1/24~1/30は  
「全国学校給食週間」です

お お た く

大田区では、1/24~2/6 までを



お お た く がっ こう きゅう しょく しゅう かん

大田区学校給食週間としています。

がっ こう きゅう しょく はじ

## 学校給食の始まり



めい じ ねん やまがたけん しりつちゅうあいしょうがっこう ます こ しょくじ ていきょう はじ  
明治 22 (1889) 年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。  
がっ こう だいたくし てら なか ぼろ いえいえ まわ きょう とな かね た もの つか  
この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使っ  
しょくじ ようい たいしやう ねん こ えいようじやうたい かいぜん ほうほう がっ こう きゅう しょく  
て食事を用意していました。大正 12 (1923) 年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食  
くに しやうれい ご ぶゆやす かさ がっ こう しゅうかん ぜんこくがっ こう きゅう しょく しゅうかん え  
が国から奨励されるなど、各地へ広がりしましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり

や ざかな

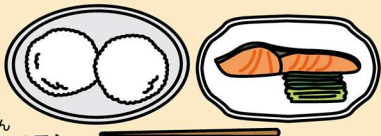
焼き魚

つけもの

漬物

めい じ ねん

(明治 22 年ごろ)



こしき

五色ごはん

えいよう

栄養みそ汁

たいしやう ねん

(大正 12 年ごろ)



し えん ぶつ し

がっ こう きゅう しょく さい かい

## 支援物資による学校給食の再開



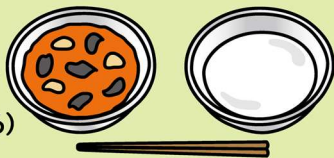
せん こ こ えいようじやうたい あつ か しんばい こえ たか しやうわ ねん がっ か ララ きやうえんどう  
戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和 21 (1946) 年 12 月 24 日に LARA (アジア救援公  
にんだんたい きやうしょくようぶつし き ぞう う よく がっ がっ こう きゅう しょく さいかい どうしや がっ か がっ こう きゅう しょく かんしや ひ  
認団体から給食用物資の寄贈を受けて、翌 1 月に学校給食が再開されました。当初は 12 月 24 日を「学校給食感謝の日」  
としていましたが、その後、冬休みと重ならない 1 月 24 日からの 1 週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

ミルク

トマトシチュー

しやうわ ねん

(昭和 22 年ごろ)



コッペパン・ミルク

たつた あ

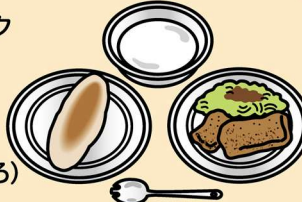
クジラの竜田揚げ

ぎ

せん切りキャベツ

しやうわ ねん

(昭和 25~30 年ごろ)



ゆた こん だて ない よう

## バラエティー豊かな献立内容に



しやうわ ねん がっ こう きゅう しょく ほう せいりつ じつ したいせい ほうてき とどの がっ こう きゅう しょく きやういくかつどう い  
昭和 29 (1954) 年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位  
ち づ しゅう ねん せいしき どうにゅう  
置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和 51 年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレー  
た こ はん どうしやう こんだてないよう しゅうじつ  
ライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

ミートスパゲッティ

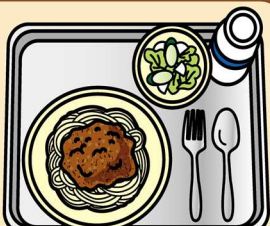
ぎやうにゅう

牛乳

フレンチサラダ

しやうわ ねん

(昭和 40~50 年ごろ)



カレーライス

ぎやうにゅう しお

牛乳・塩もみ

たまご

ゆで卵

しやうわ ねん

(昭和 51 年ごろ)



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが飢えるこ  
となく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても  
じぶんじしん かんが けんこう しょくせいかつ つづ がっ こう きゅう しょく きやうざい やくわり にな  
自分自身で考えて健康な食生活が続けることができるように、学校給食は「教材」としての役割も担っています。